の自覺と其の活動如何に依ることが極めて多いのであります殊に我國は目下大東亞戰下重大時局に直面し國家は凡ゆる力を總動員致しまして高度國防國家の敷備に邁進して居るのであります從ひまして此の際に於ける各位の使命は益々重要性を加へて參つたのであります。

今や各市町村から出征せられました多くの將兵が南や北に寒暑酷烈の地に於て生命を鴻毛の輕きに置き東亞聖業の達成に努めて居ります時地元町村に於ける道路河川の維持保全を完ふし依つて以て戰時下生產力の確保に寄與せらるると共に郷土の發展に務めますことは銃後を守る者の重大なる責務であります、本日表彰せられました團體は此の表彰に滿足せらるることなく今後益々研鑽努力せられまして本縣道路河川愛護の爲充分の御奉公を勵みまする樣切望する次第であります

尙修路夫諸君は道路報國の第一線に立つて職域に精勵せられつつあることは常に感激して居るのであります本日玆に表彰せられたる諸君に在つては之を以て慢心せず一層專心以て職域の爲充分なる奉公を致されんことを望む次第であります。

以上を以て御挨拶に代へたいと存じます。

曉鐘の鳴る村
久志村道路愛護會

釜野井生

一

久志村を書く前に、沖繩の外貌を簡單に述べて見たい。沖繩縣は沖繩本島及宮古、八重山兩列島より成り、人口六十萬を擁してゐる。本島は那覇首里の兩市と、島尻、中頭、國頭の三郡より成り、那覇に縣廳が置かれてある。宮古、八重山兩列島を夫々宮古郡八重山郡と稱し、宮古支廳八重山支廳が置かれてある。氣象通報で御馴染の石垣島は即ち八重山郡內である地圖では小さい沖繩

も來て見ると相當大きなもので、北は鹿兒島縣の與論島に隣し南は臺灣の基隆より稍南に伸びてゐる。世界地圖では小さな點を一寸打つた丈の沖繩でさへこんなに廣いと感ずる。いはんや大御稜威の下、忠勇無比の皇軍が、赫々たる戰果を擧げてゐる大東亞戰爭の地域が、如何に廣汎で、亦其の規模構想の如何に雄大なるかを今更ら驚かざるを得ない。

沖繩は亦亞熱帶地にして、年中青葉の山と綠の野に包まれ、四季を知らぬ南國の花は次ぎから次ぎと咲き續けてゐる。風光殊に明媚にして到る所捨て難き景勝の地に富み、恰も大きな盆栽を大洋に浮べた樣なものであるが、惜むらくは文人墨客の訪れるもの尠なく、爲に隱れたる史蹟名所亦尠しとしない。沖繩に關して書きたい印象は容易に盡きないが、本稿の目的でないから之れを他日に讓る。

偖て本縣の道路は國府縣道を併せて六十八路線延長六六七粁餘外に供用を開始せざるもの若干ある。其の分布狀態は、首里、那覇、島尻、中頭の二市二郡が、路線の數に於ては其の大半を占め、網狀を成して狹い地積を縱橫に走つて居り、延長に於ても其の半を占めてゐる。面積に於て本島の約五分の三を占むる國頭郡に於ては、十八路線二三五粁餘であり、宮古五路線五一粁餘、八重山三路線で二七粁餘となつてゐる。

路面は那覇市內の鋪裝道路と、國頭郡の西海岸を除いては極めて不良である。之れは土質が惡いのと、修繕材料が容易に得られない關係であるが、土質の惡い此の地方では雨降りに馬車が列をなして立往生することも敢へて珍しくない。かうした道路を取扱ふ縣職員の苦勞は並大抵のものではなく、降雨期や交通頻繁の製糖期には一層頭痛の種で、經常部の僅かな修繕費ではとても間に合ふ筈もなく、或は道路愛護會の活動を促し、或は地元町村民の勞力奉仕に愬へ、百方手を盡くしてゐるが、十二月から翌年の三月末頃までも續く沖繩特異の永雨では、唯後から後からと破壞される許りである。曾つて大正の初年に、東京の道路を見た一外人は、船で走る道路だと言つて笑はれたといふ話を想起するが、沖繩の現在の道路は寧ろ夫れ以上で、昔ながらに取り殘されてゐるのである。沖繩の道路をジャーナリストに書かせたら殺人道路とか、足一度び門外に出づれば泥濘膝を沒するとか、形容するであらうかうした惡い條件を有つ沖繩の道路に對しては、結局鋪裝するより外に對策はないのである。文化の普及に產業の發展に、地方開發に、道路の整備は一日も忽にすべからざる問題であるが、しかも南進日本の重要な足場となつた今日の沖繩に於ては、高度國防國家の建設上から見て更に其重要性が加つて來たのである。政府も玆に鑑みる所あり、今回府縣道那覇與那原線、延長九八〇四米を國道特三五號に認定し、客年十二月內務省告示六五四號を以て

告示され、更らに之れに對し、工費八十餘萬圓を投じて昭和十七、十八兩年度内に改良される事になつたのは誠に喜びに堪へないが、殘る指定府縣道那覇名護線の如き、或は其他の主要區間に對しても、路面改良の急を要する切なるものがある。文化に遲れた沖繩といはれ、レベルが低いといはるゝのも、實に道路交通機關の不備な點が其の原因の大なるものゝ一つであると信ずる。

斯樣な惡い道路を持つてゐる本縣民、淳朴其のものゝ縣民に依つて組織された本縣道路愛護會は、各團體共献身的な努力を拂はれ又其の作業に於ても、道路が道路丈けに他府縣に比べて人一倍困難を極めるのであるが、縣の力丈けではどうする事も出來ぬ現狀では、特に此等團體の協力に俟つべきものが多いのである。道路愛護日には各土木工區員と土木課員が「道路愛護指導員」と赤地に白く染め拔いた腕章を附して現場に出動し、作業の實地指導をすると共に、「村に在る道われらの道」をモツトーとし、道路愛護精神の涵養普及に力めてゐる。各團體の奉仕に對して、われらは常に深甚の謝意を表するものである。其の代表的なものとして茲に久志村を擧げたのであるが、作業の事蹟に於て、或は愛護思想の普及の點に於て、之れと相伯仲する他の幾多の團體が本縣に在ることを附記しておく。

二

那覇から本島の西海岸に沿ふて北に走る一條の路線、指定府縣道那覇名護線をバスに搖られて十八里、本島隨一の觀光都市國頭郡名護町に到る坦たる道は更に北進幾多景勝の地を縫ふて走ること十一里、本島の北端國頭郡國頭村字奧に達する。此處からは九州の與論島が水平線上遙かに彷彿として見える。

那覇から又別に本島の北端に達する東海岸線が在るが、之れは國頭郡内に於て未改修の儘殘された區間が相當にあり、沖繩振興事業として目下着々改修工事を進めてゐるが。まだまだ馬の通行はおろか、人間さへ滿足に通れぬ所が二十五粁も續いてゐる。茲に紹介せんとする久志村は卽ち此の東海岸に沿ふた僻村、ランプの村で、村の一部は現在改修工事中である。國頭郡の西海岸は坦々たる良い路面であるが、東海岸道路は中頭郡から本郡の金武村に亘り坂路もあり路面も惡く、バスも金武の中ほどで止つてゐるので、久志村へは西廻りが順路となつてゐる。

偖て、西海岸を名護から岐れて久志に通ずる本島横斷線、府縣道瀬嵩名護線がある。此の道にはバスも通はず力車もない。那覇では列をなして街頭を流す人力車、辻待つ車が目白押しに集つてゐるが、郡部には入ると名護のような觀光地でも力車なるものゝ影を一つも見られない。青葉に曇る此の山路を、荷馬車に仕立てた坐席に老人や婦女子が、荷物と一緒にガタコト搖られて往來する。流行のパラソルに盛裝した村の娘さん達もかうした乘物で村

から出て來る。今の世に珍らしい風景ではあるが、町へ出るにも歸るにも、かうした乘物の外には惠まれないのだから笑はれぬ光景である。横斷二里の峠越え、油を流したような大浦灣を眼下に見おろしながら下り着いた所が久志村字二見部落である。

久志村は國頭郡の中央、東海岸に位して、帶のように南北に細長い村で、面積六九、四平方粁、戸數八八一、人口四一二二、東は渺茫たる太平洋に臨み、海岸の美捨て難き景勝の地である。由來此の村は地勢上惠まれない僻村にして、村政亦甚だ振はざりしが、一昨年現村長石原貫一立つや、長夜の暖床から村民を呼び醒すべく警鐘は亂打されたのである。

疲弊困憊の極に達せる村勢を挽囘せんとする熱情に燃ゆる村長石原氏は村政の刷新に産業の開發に或は經濟に教育に寢食を忘れて一路村の更生に邁進したのであるが、殊に道路に對しては深い關心と理解を持たれ「村の更生は道路より」といふ標語を揭げ荒れ果てたわれらの道路を愛護修理せよと叫び、愛護思想の普及發達と勤務奉仕の精神涵養に全幅の精心を傾けたのである。素より淳朴にして團結の氣風に富む村民は、玆に一致協力、只管村長の意を體して一丸となり、道路愛護勤務奉仕に精進して目覺しい成績を擧げてゐる。卽ち一昨年組織を改めた久志村道路愛護會は全戸主會員八八一名の外、特に久志、久邊、嘉陽の三國民學校教職員以下學童八九一名を會員に加へ、總員一七七九名より成り毎月三日を道路愛護日と定めて、之れを村行事の一つとしたのである「道路奉仕」と書かれた日の丸付きの旗が早朝から翩翻として村の部落々々に飜る。之れが道路愛護日なのである。石原村長は例に依つて卷ゲートルに地下足袋で自ら陣頭に立たれ、助役以下全村吏員亦同じ輕裝に身を固めて各部落に分擔出動して全戸主會員を指導督勵し、各國民學校亦校長以下男女教職員一同が、卷ゲートル或はモンペイに、身輕な服裝で學童と共に夫々の持場に就く。午前八時から午後四時までと定められた長い時間を、誰れ一人不平を洩すでもなく、砂利を採る者運ぶ者路肩の整理や路面拵へ或は側溝を浚ふ者、馬車で材料を運ぶ者など、其の整然として紊れざる終日の作業振りには全く感激の外はない。しかも其の出來ばえに於ては全く玄人の域に達してゐる。道路愛護會全國に遍ねしと雖も、かうした光景は恐らく他に見られないのでは無からうか。殊に客年八月非常災害時に於ける本團體の獻身的努力は實に特筆すべき一事である。卽ち八月六、七兩日に亙り沖繩本島を襲ふた暴風雨は、風速四十二米といふ物凄いもので、特に東海岸に甚大な被害を與へ、府縣道瀨嵩名護線、同川田金武線、町村道瀨嵩天仁屋線など、村民が常に愛護怠りなかりし村內樞要の幹線道路は、激浪の爲に破壞されて賽の河原となり、慘憺たる光景を呈して交通杜絕の狀態となつた。民間の被害また著しく、住家の全潰又は半潰したるもの數十に達し、其他農作物の被害亦莫大なものであ

つた。村長石原貫一氏亦最大被害者の一人で、住宅もろ共一切の家財は激浪に呑まれ、瞬間身を以て家族と共に逃れた丈けで、文字通り裸一貫になられたのである。索寞たる此の慘害の跡に立たれた石原氏は、さすがに悄然たらざるを得なかつたが、翻然決する所あり、自分が弱音を出したのでは駄目だと、敢然立つて村民を激勵し、先づ復興は道路よりと、村民を狩り立てて村の總力を應急工事に捧げたのである。現在の幅員二・五米の車馬通行可能の假道は悉く是れからうした村民の血と汗の結晶なのである。殊に可憐な學童が先生の命をよく守り、一心不亂に精出して運ぶ土や砂利、モンペイの女先生が自ら鍬を取つて入れてやる、洵に涙ぐましい此の一場の光景は、筆者等之れが指導の任に當る者として一入深い感激に胸を打たれたのである。尙此の災害時に於ける助役以下村吏員の目覺しい活動振りも決して見逃せぬ一事で殊に助役玉城定喜氏は村長が裸一貫で、何處へも出られぬといふので、代つて東奔西走、特に道路問題では再三峠を越えて私の所に打合せに來られたり、遙々縣廳に行かれたり身心の疲勞を顧みる暇もなく活躍された功績は偉大である。かうして役場は上下一致恰も一家族の如く和中協力して活動されたのであるが、玆に一つ麗はしい災害エピソードがある。村長の家が淩はれたと知るや捨てては置けぬと吏員一同が駈け付け、假住居の掘立家を吏員の手だけで建てたといふ。洵に美はしい主從の情誼である。

三

斯樣に徹底せる村民の道路愛護精神の發露は、玆に優秀なる事蹟として顯はれ、昭和十五年度に於ては群を拔いて本縣最初の優賞旗を授けられ、昭和十六年度には再び拔群の成績を認められて賞一等に選ばれ、去る紀元の佳節をトして行はれた晴れの表彰式場、燦として輝く榮冠は再び其の手に歸したのである。

其の昭和十六年度に於ける本會事蹟の概要は次の通りである。

路線名	作業區間長	出役人員	作業時間
府縣道			
瀬嵩名護線	七・八粁	二六二六	自午前八時至午後四時
同			
川田金武線	一〇・六粁	三一〇七	〃
町村道			
瀬嵩天仁屋線	一二・六粁	四一九一	〃
計	三一・〇粁	九九二四	

作業の大要

1、路床拵へ
2、路肩整理
3、側溝淩渫
4、路面拵へ及砂利敷均

5、栗石及砂利採取運搬
6、災害箇所の應急修理
7、道路並木として木麻黄　一八〇〇本植樹
8、前表定期作業の外、各部落會員が隨時不定期に破損箇所の修理をなす、之れは前表出役人員に含まず。

斯くして本村內府縣道は殆ど道路工夫の手を煩すことなく、專ら村民の愛護心に依つて維持されてゐる。

かうして本村內は府縣道、町村道、或は農道、林道に至るまで、數年前の夫れとは全く面目を一新し、一般交通上並產業開發上裨益する所大なるものあるが、尙一つ此の道路の整備に依つて、村民が、彼の恐ろしい毒蛇「ハブ」の被害から救はれたといふ事である。

「ハブ」に嚙まるるのは多くの場合、日沒後の道路上であるといふ。久志の道路も是れまでは荒れた路面に草蓬々といふ有樣で、「ハブ」の被害が頻りにあつたが、雜草のない今の道路では容易に「ハブ」の出沒を發見出來るし、又從前路傍に錯雜して繁茂してあつた「アダン」と稱する熱帶植物は、「ハブ」の巢といはるるのであるが、道路愛護作業に依つて此等が完全に取除かれた結果でもあるといふ。「ハブ」の被害が殆ど絕えた今日では、村に用意されてある應急處置用の血清注射液も餘り必要が無い位といはれてゐる。因に「ハブ」に嚙まれたら應急處置として二三時間內に此の血清注射を施さなければ、一命に及ぼす危險があるといふ。尙「ハブ」は漢字で「飯匙」と書かれてゐるが頭の形が恰も飯の匙に似てゐる點からの當て字ではなからうか。

鄕土自慢の三愛會。 以上道路愛護に關する大要を述べたが、村にはまた三愛會といふものがある。道路愛護會を含めて、愛道、愛林、愛農の三會之れである。愛林といひ、愛農といひ、夫々の活動機關を設けて、或は植林の奬勵實行に、或は山林の愛護育成に、或は戰時下食糧增產に、村勢の挽回に夫々全力を擧げて邁進されてゐる。林業の或る專門家が昨年國頭郡に來られた際、沖繩の林業は少くも五十年遲れてゐるといはれたのを聞いて一寸驚いたが、村の大半を山林で占める久志村としては、此方面にも大いに働き甲斐のあるわけで、將來素晴らしい實績を擧げらるる事を期待して已まない。

警鐘に目醒めた村を見よ！　日の丸の下欣躍る勤勞奉仕、涯しなき太平洋上高鳴る怒濤の行進曲、背面一帶の青葉の山からは愛林の唄が洩れて來る。田に畑に勇ましい銃後の姿、雄大な太平洋に抱かれた海岸美、長汀あり、曲浦あり、白いテープで緣をとつた樣な白砂の磯、五色の海には大小幾つかの島が遠く近く浮いてゐる。景勝の村！　平和の村！

まことに風光の美と人の和、かうして今黎明の鐘は全村に鳴り響いてゐる。